

数学を学ぶのではなく、数学で学ぼう！

～数学の学びを通してもっと大切な「何か」に気付けるように～

「数学って難しい・・・」

誰もが一度は感じたことはあるのではないのでしょうか。

数学を学んで何の意味があるのだろうか？

日常生活にどのように役に立っているのだろうか？

そんな疑問に答えるべく数学教育学研究室では、数学の学びを通して、様々なことに役立つ知識や知恵を身に付け、実際にそれを実践することを心掛けています。

令和4年度には以下の2つのことに取り組みました。

① 皇學館中学校での探究活動

皇學館中学校（セミナーホール）にて、「日本ジュニア数学オリンピック」の問題を扱った探究活動を行いました。これは、8つのグループに分け、そこに数学教育学研究室のゼミ生をチューターとして配置し、チームになって割り当てられた問題を解き、それをプレゼンするという活動です。中学生だけでなく、チューター役の大学生にとっても非常に貴重な経験・体験になったようです。



② 現場の教師による講演会&座談会

実際の教育現場で働かれている先生を招いての講演会とその後の座談会を行いました。教科書や授業では学ぶことのできない教育現場の「生の声」を聞くことができ、学生にとってはとても貴重な体験になったと思います。また、講師の数学の先生からはこれから大切なこととして

- 理数教育の充実
- 探究活動の取り組みの重要性
-

について語っていただき、非常に良い経験になったと思います。



このように単に数学を学ぶだけでなく、数学を通していろんな活動を行っていきたくて考えています。興味のある方、是非一緒に研究していきましょう。